

各 位

会 社 名 オンキヨー株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 大肚宗徳  
 ( J A S D A Q ・ コード 6 6 2 8 )  
 問 合 せ 先  
 役 職 ・ 氏 名 代表取締役副社長 中野 宏  
 電 話 0 6 - 6 2 2 6 - 7 3 4 3

## 特別損失の計上及び平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）において、下記のとおり特別損失を計上することといたしましたので、その概要につきお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上について

保有する関係会社株式の売却に伴う関係会社株式売却損608百万円および、OEM事業での海外生産拠点の再編に伴う固定資産除却損および製品部品等の廃棄による損失232百万円を特別損失に計上いたします。

#### 2. 業績予想の修正について

(1) 平成30年 3 月期通期業績予想の修正（平成29年 4 月 1 日～平成30年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	60,000	1,400	300	100	円 銭 1.16
今回修正 (B)	52,000	300	△900	△1,900	△20.56
増減額 (B-A)	△8,000	△1,100	△1,200	△2,000	—
増減率 (%)	△13.3%	△78.6%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	55,882	770	△458	△752	△9.24

(注) 平成30年 3 月期の 1 株当たり当期純利益は、平成29年10月31日実施の第 4 回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換による新株式の発行分 (7,936,500株) を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

#### (2) 修正の理由

売上高につきましては、デジタルライフ事業でのヘッドホンの販売が前回予想を大きく下回る見込みです。その要因としましては、当社の連結子会社である、オンキヨー&パイオニアイノベーションズ株式会社（以下、「OPI」）と、Gibson Innovations Limited（以下、「ギブソンイノベーションズ」）との間で、日本国内におけるPhilipsブランドのオーディオ製品及びホームエンターテインメント製品に関する販売代理店契約を締結し、平成27年よりPhilipsブランドのヘッドホンの国内販売を行ってまいりましたが、ギブソンイノベーションズの親会社である、Gibson Brands, Inc. の経営悪化を懸念したメーカーが、ギブソンイノベーションズに対する製品供給を停止したことによるものです。

また伸張を期待していたデジタルオーディオプレーヤー及び高音質を追求したハイレゾスマートフォン販売についても、新商品を導入することで拡販を図りましたが、計画予想に対しての期待が届かず、営業利益、経常利益ともに予想を大きく下回る見込みとなりました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上